

～統計データ～

令和3年度の兵庫県内の船舶積卸し実績

令和3年度の管内4港（神戸港、尼崎西宮芦屋港、姫路港、東播磨港）の船舶積卸し実績は、外貿貨物、内貿貨物ともに全般的に取扱量が増加し、全体では128,926千トン（対前年度比110.6%の増加）となり、116,613千トンであった令和2年度を上回り、128,295千トンであった令和元年度の実績をやや上回るまで回復する結果となりました。各港の実績の概要は以下のとおりです。

1 船舶積卸し実績（概数）

	令和3年度	令和2年度	対前年度比
神戸港	85,260千トン	77,383千トン	110.2%
尼崎西宮芦屋港	2,915千トン	2,984千トン	97.6%
姫路港	10,404千トン	8,761千トン	118.8%
東播磨港	30,347千トン	27,485千トン	110.4%
管内4港 合計	128,926千トン	116,613千トン	110.6%

※尼崎西宮芦屋港のR2年度のデータに誤りがありましたので修正を行いました

2 港湾別の船舶積み卸し実績（%表示は、対前年度比）

<神戸港>

総取扱貨物量 85,260千トン（110.2%）

・外貿・内貿別（図1）

外貿貨物〔輸出・輸入〕73,085千トン（109.8%）

内貿貨物〔移出・移入〕12,176千トン（112.7%）

・品目別（図2）

コンテナ貨物 70,998千トン（108.8%）（うち実入りコンテナ 56,971千トン（107.1%））石炭 3,012千トン（128.8%）、自動車 2,509千トン（106.9%）、鉄鋼 1,959千トン（118.6%）。

注）上記4品目で総取扱貨物量の約92%。

・コンテナ貨物〔実入り、空〕の個数（図3、図4）

総取扱個数 2,219千TEU（109.5%）

うち輸出 1,020千TEU（109.9%）〔実入り 772千、空 248千〕

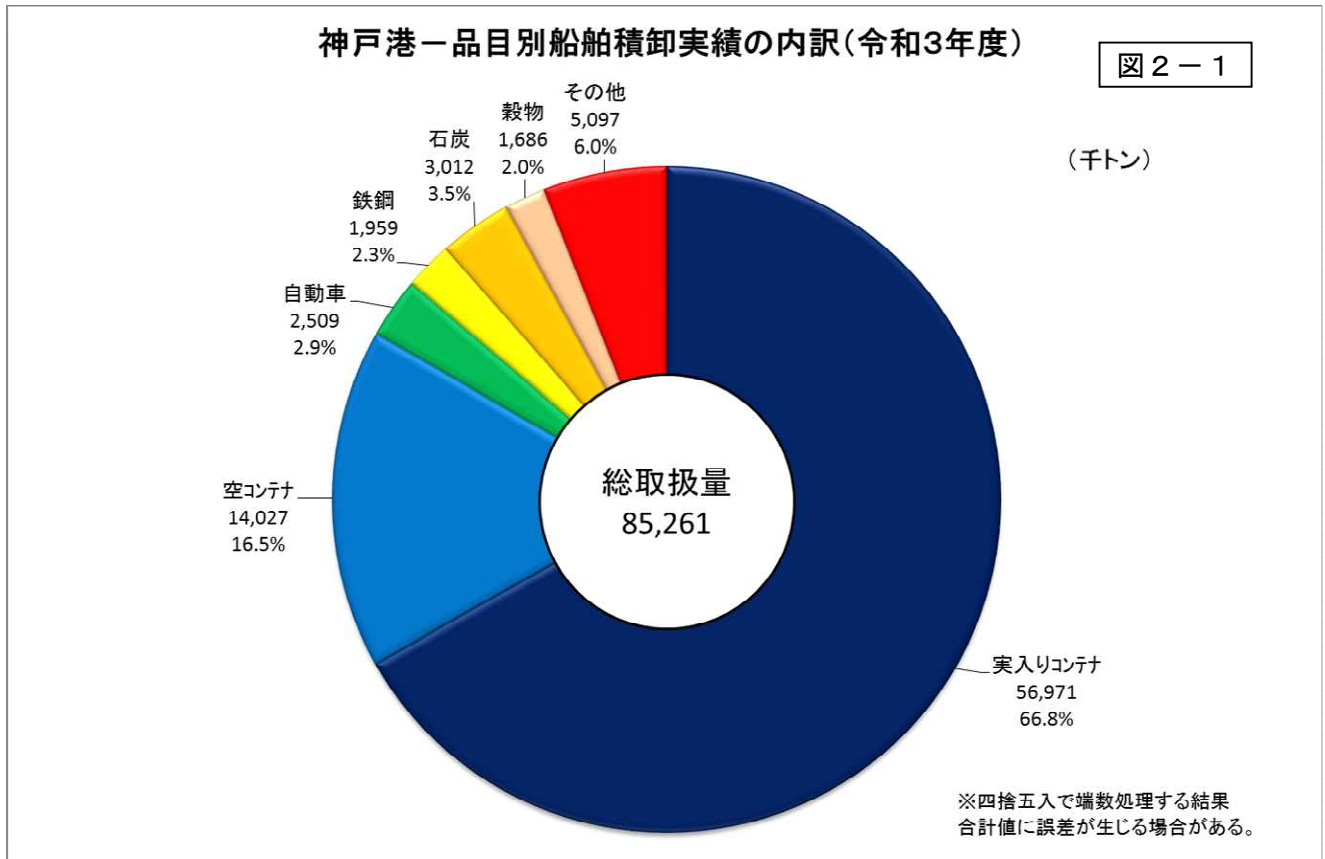
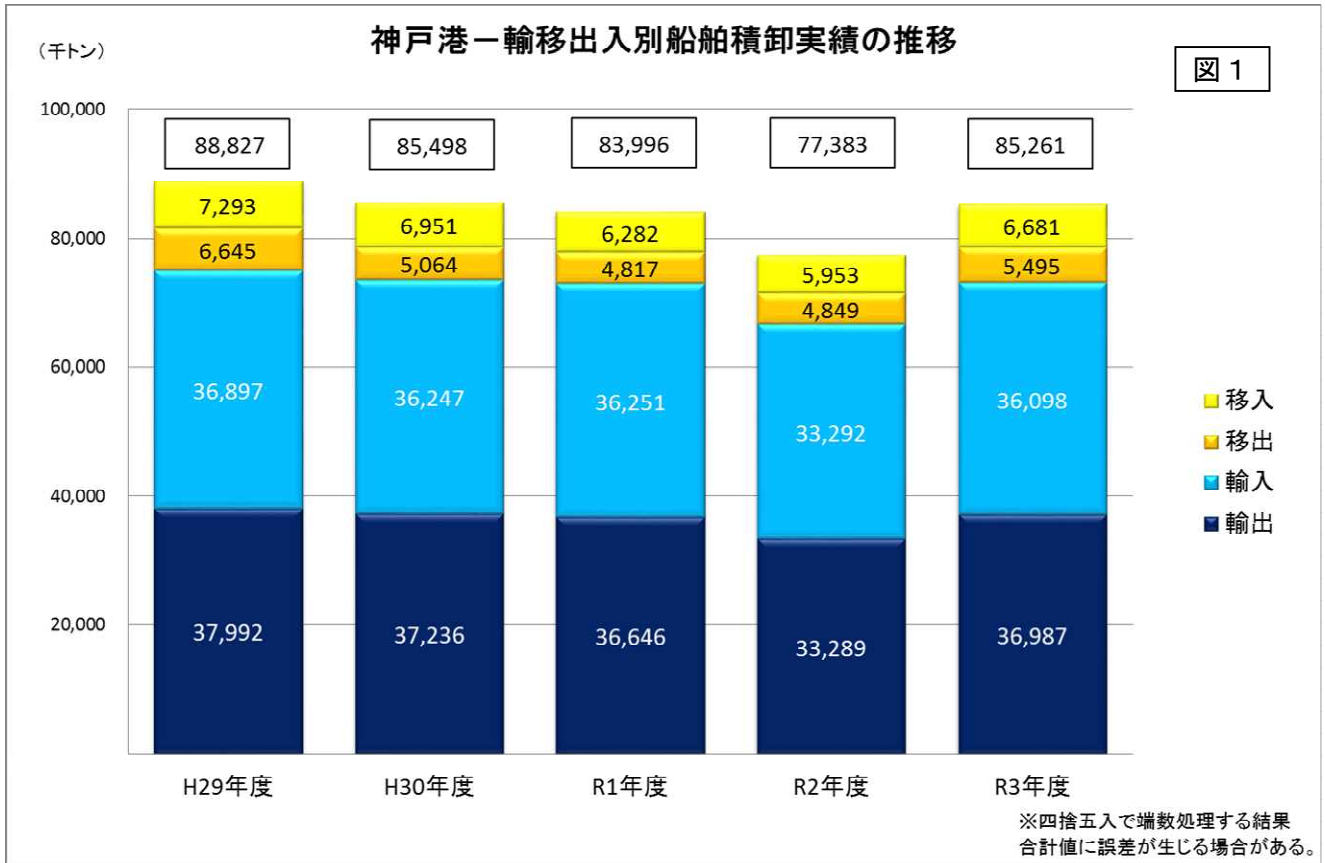
輸入 954千TEU（107.2%）〔実入り 837千、空 117千〕

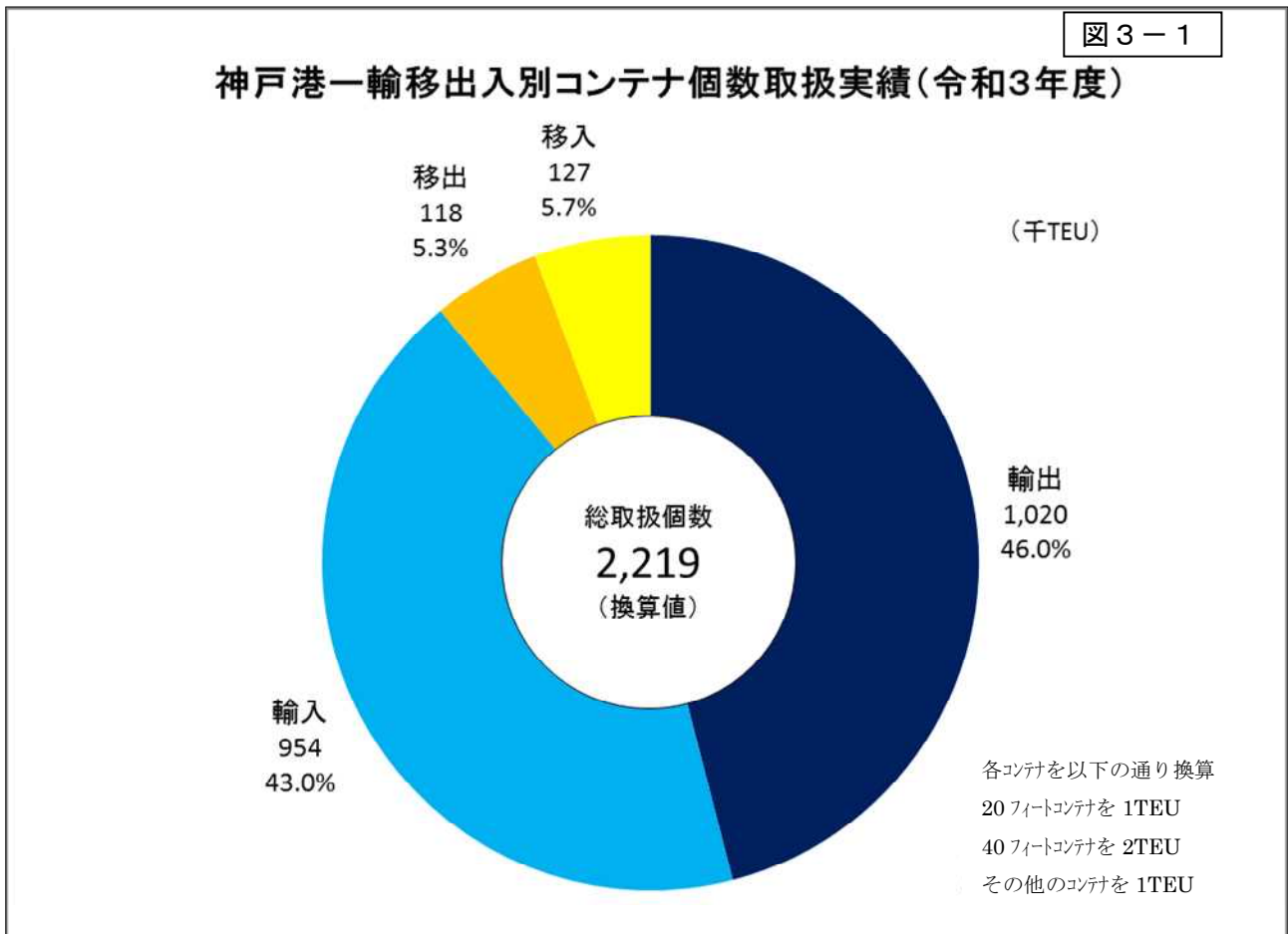
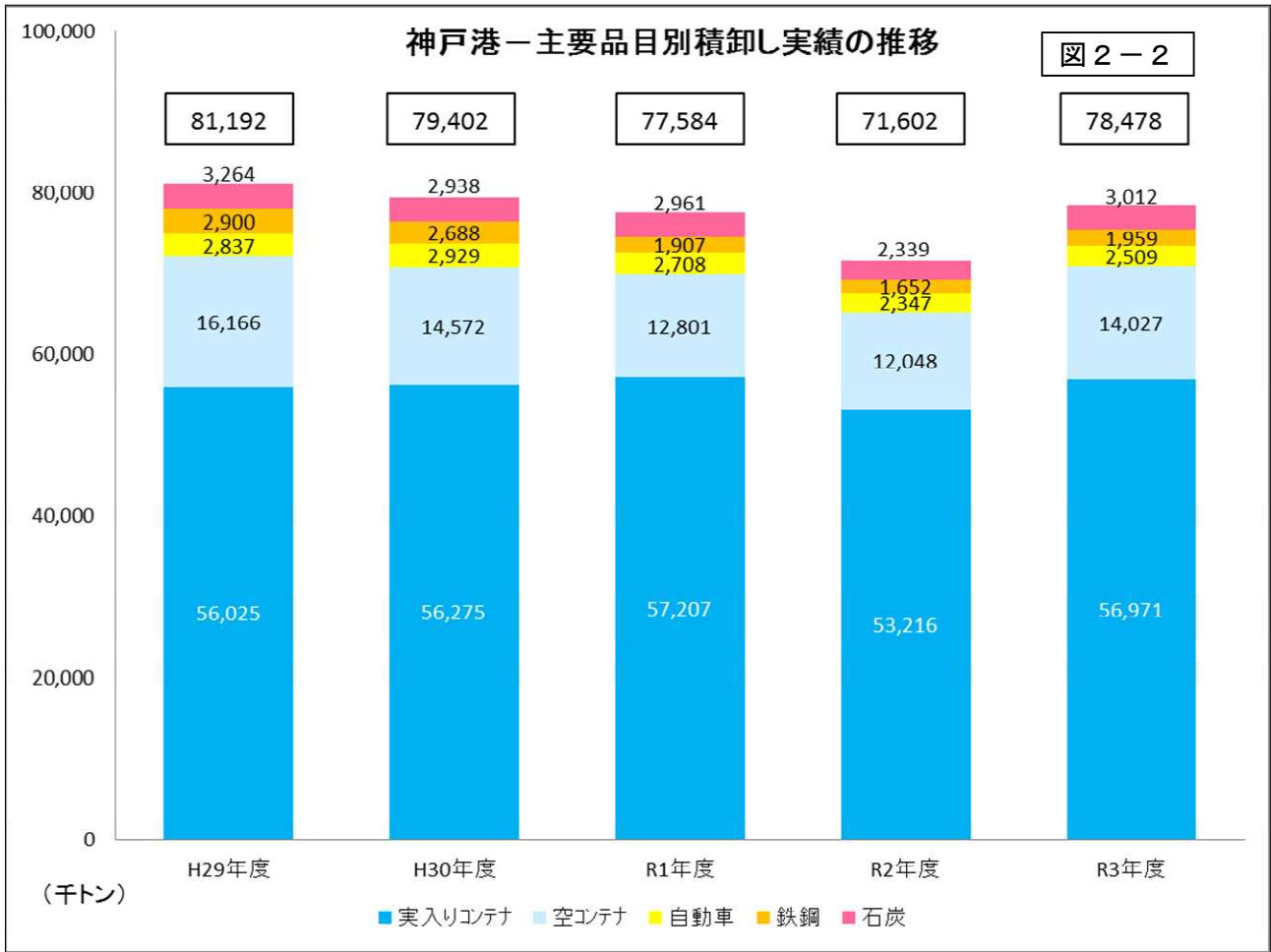
移出 118千TEU（116.8%）〔実入り 74千、空 44千〕

移入 127千TEU（118.7%）〔実入り 98千、空 29千〕

外貿貨物は、実入りコンテナ、空コンテナ、自動車、石炭、鉄鋼などの主要貨物が軒並みに増加し、対前年度比で109.8%となった。

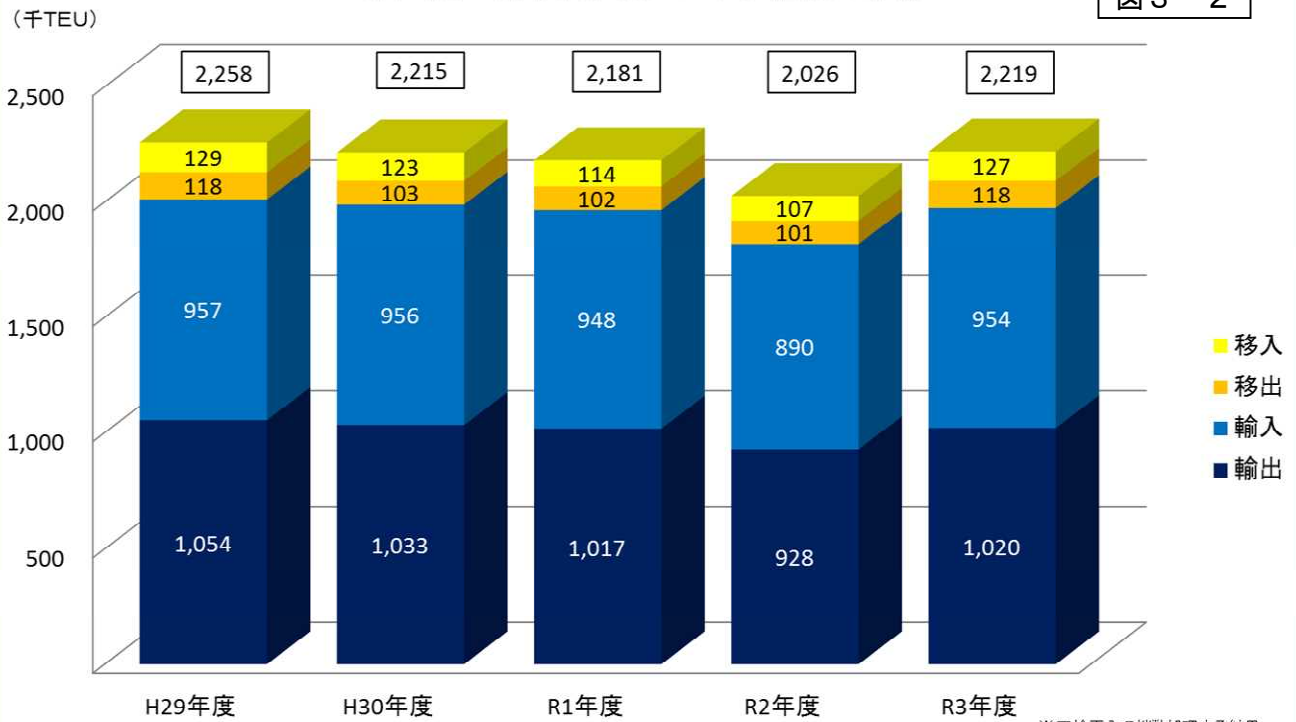
内貿貨物は、自動車の取扱量が大幅に減少したものの、コンテナ貨物や鉄鋼などの取り扱い数が増加し、対前年度比で112.7%となった。





神戸港一輪移出入別コンテナ個数の推移

図 3-2

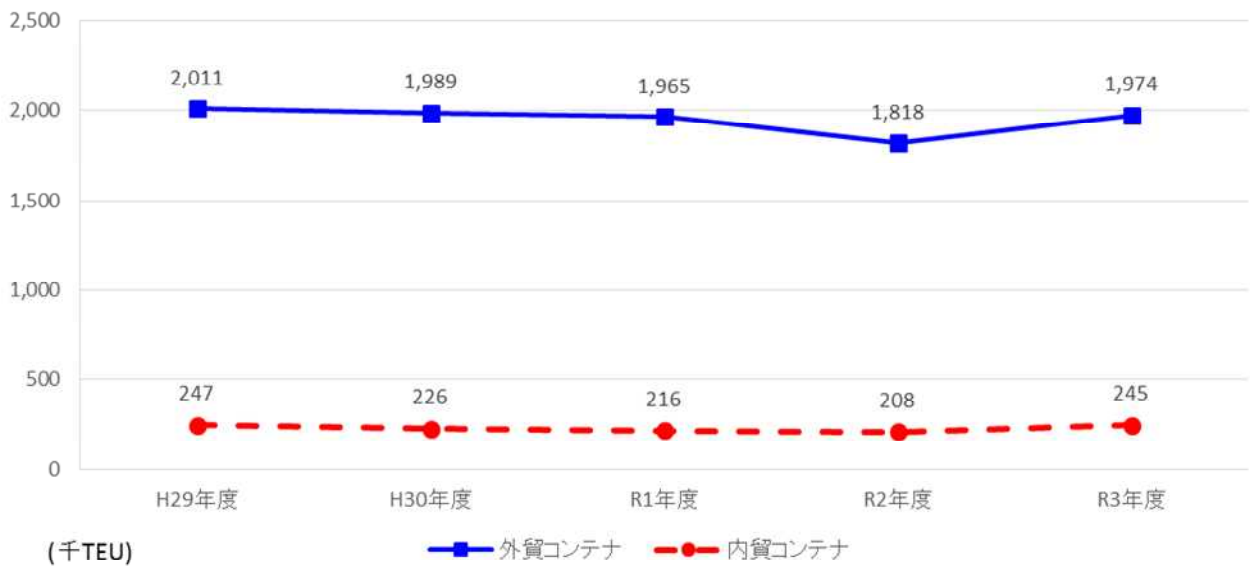


※四捨五入で端数処理する結果、合計値に誤差が生じる場合がある。

(注) 上記のコンテナ個数は、20フィートコンテナを1TEU、40フィートコンテナを2TEU、その他を1TEUとしてそれぞれ換算した数値である。

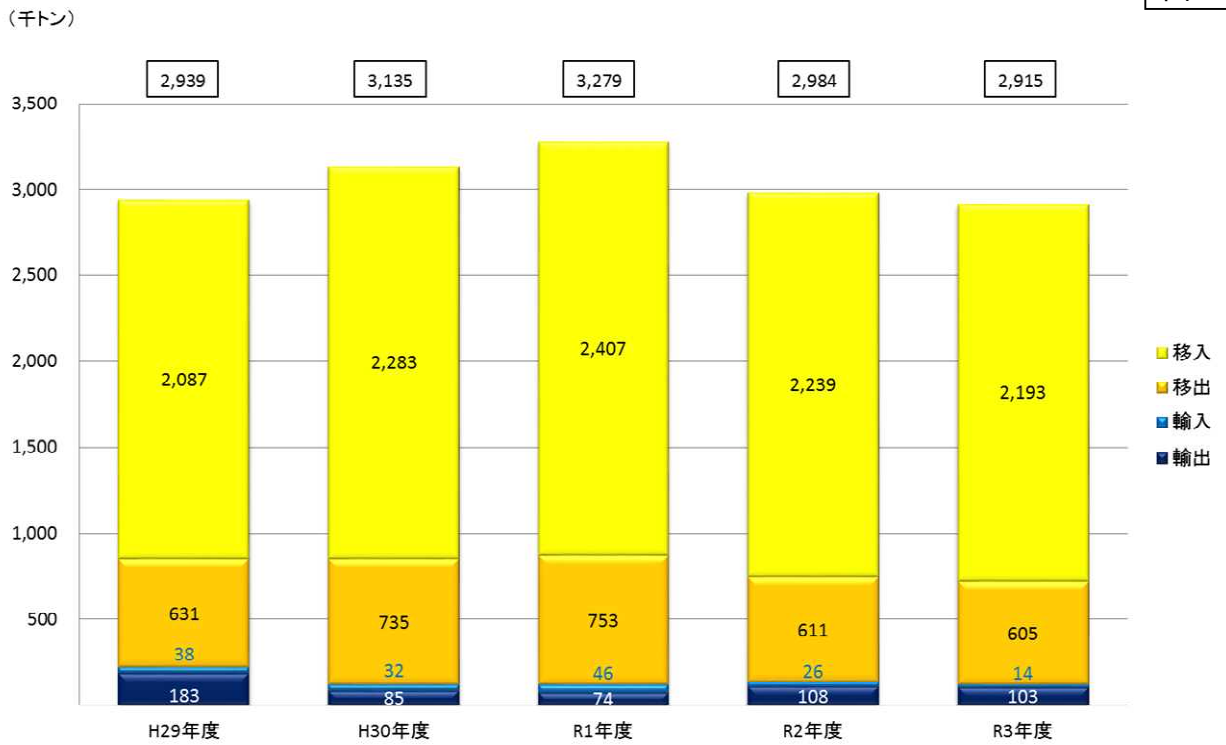
外貿・内貿コンテナ取扱量の推移

図 4



尼崎西宮芦屋港一輸移出入別船舶積卸実績の推移

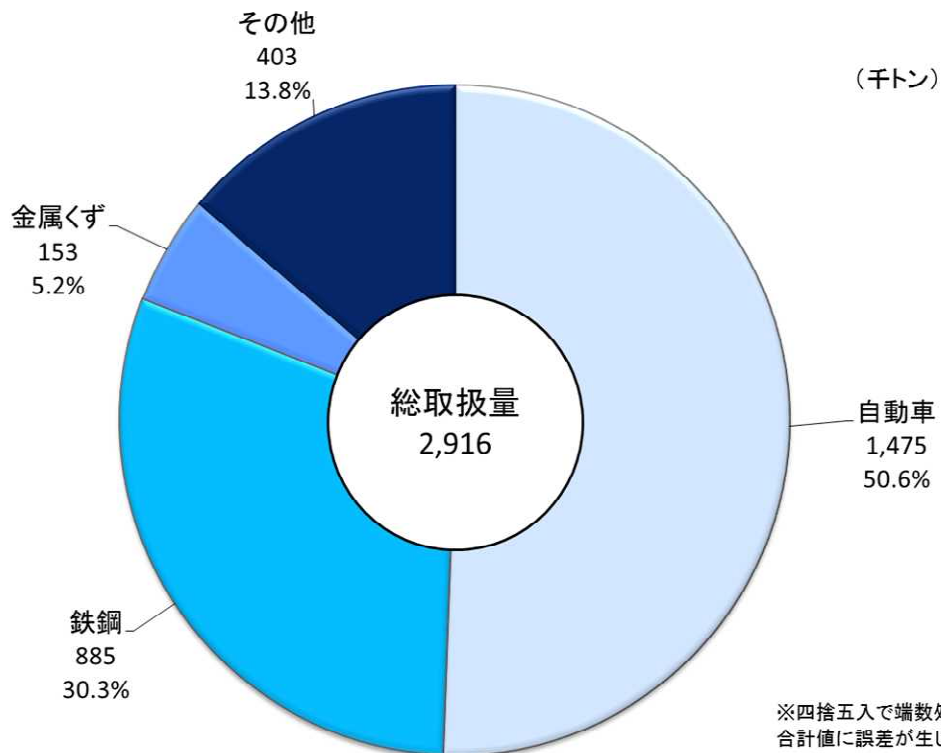
図 5



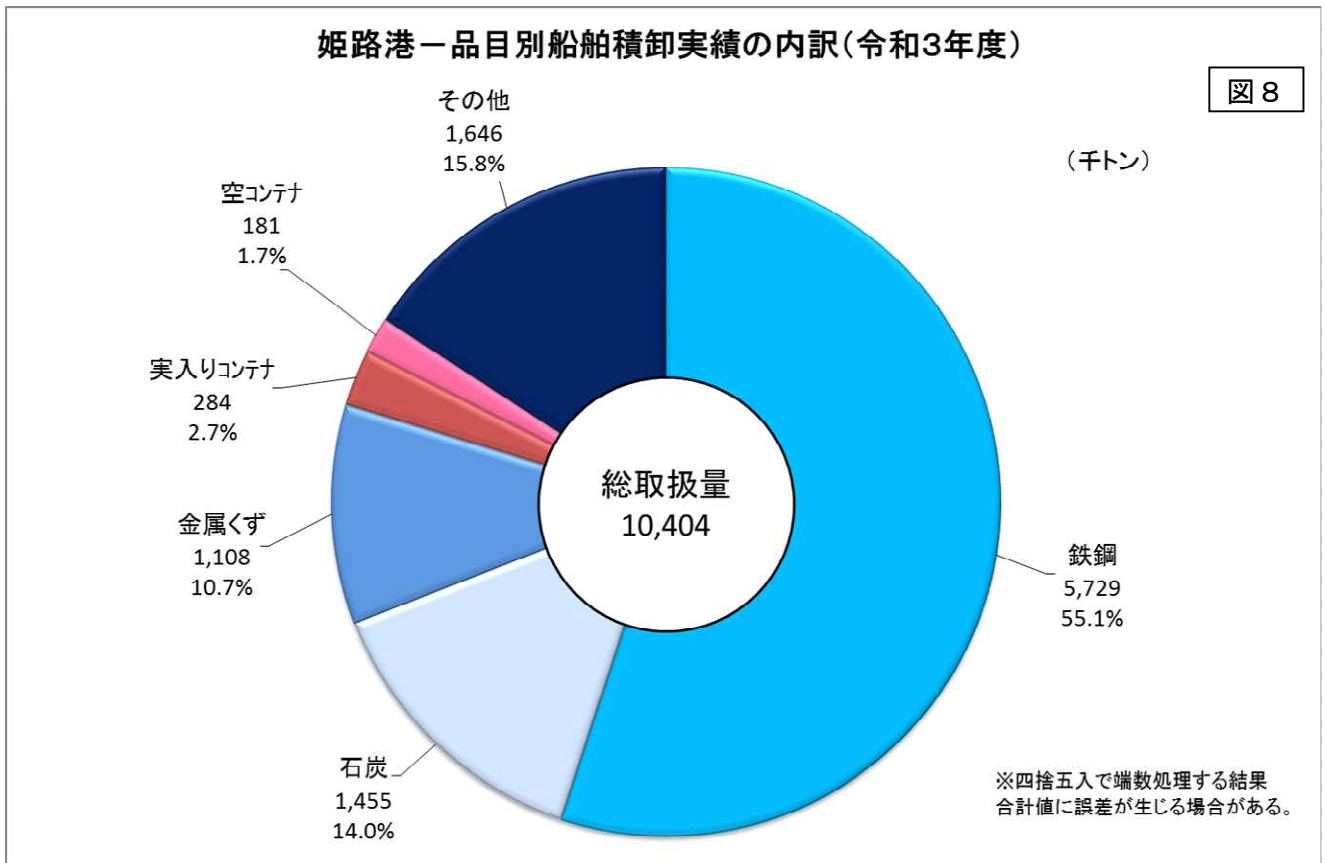
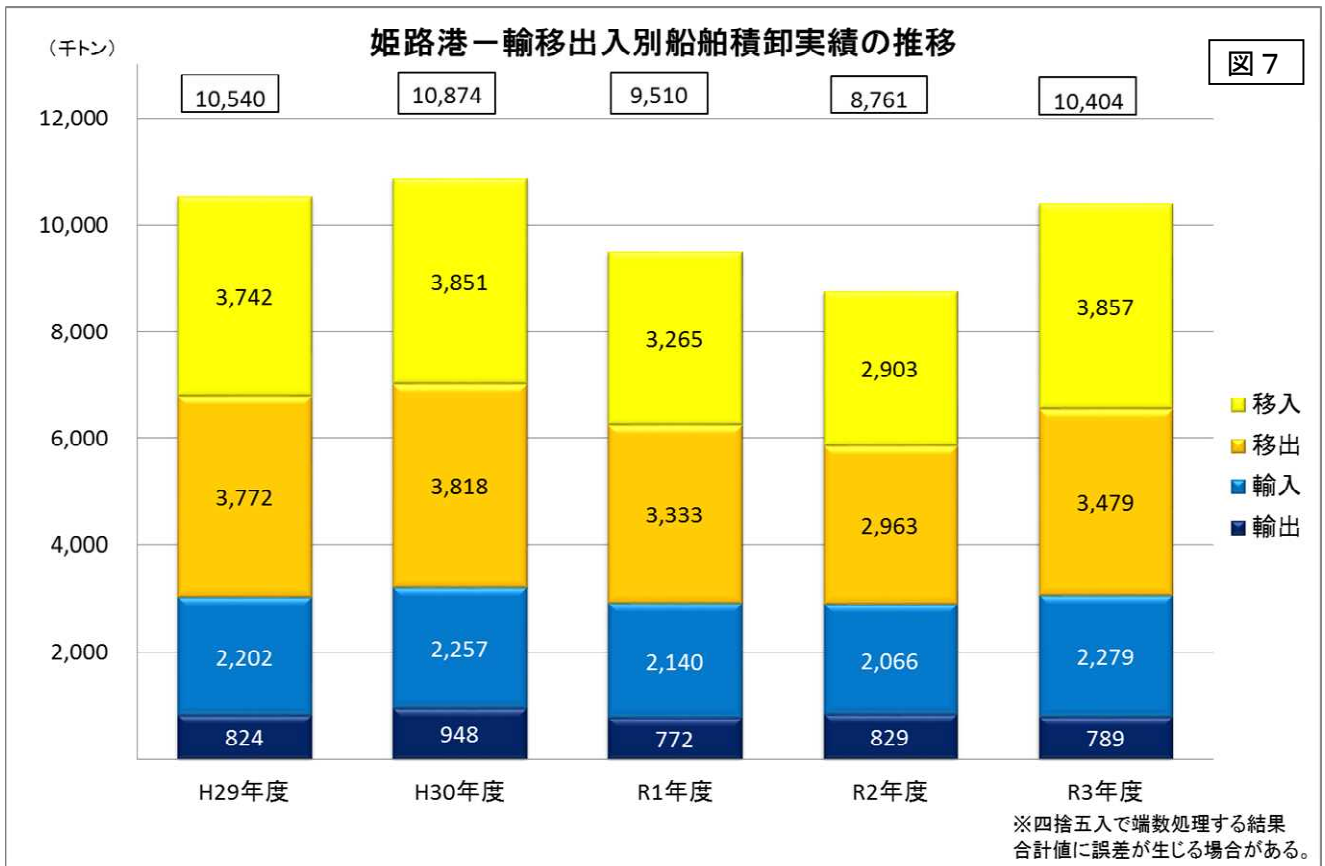
※四捨五入で端数処理する結果
合計値に誤差が生じる場合がある。

尼崎西宮芦屋港一品目別船舶積卸実績の内訳(令和3年度)

図 6

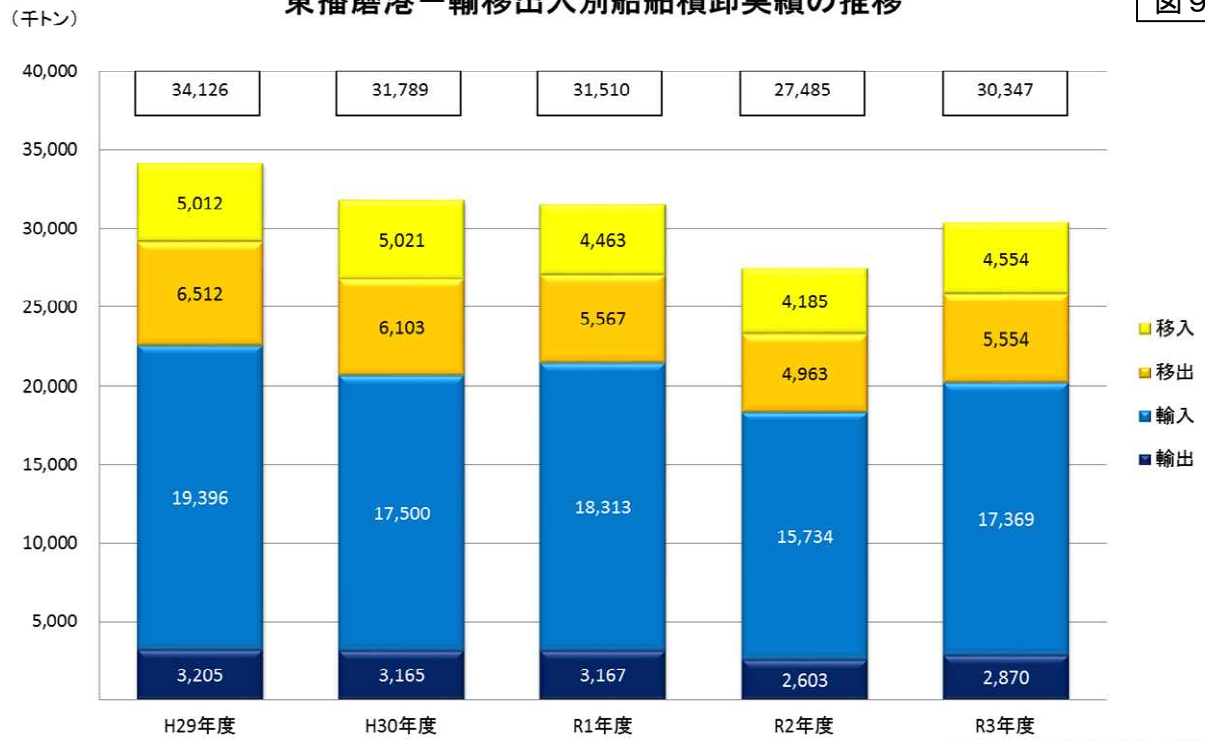


※四捨五入で端数処理する結果
合計値に誤差が生じる場合がある。



東播磨港一輸移出入別船舶積卸実績の推移

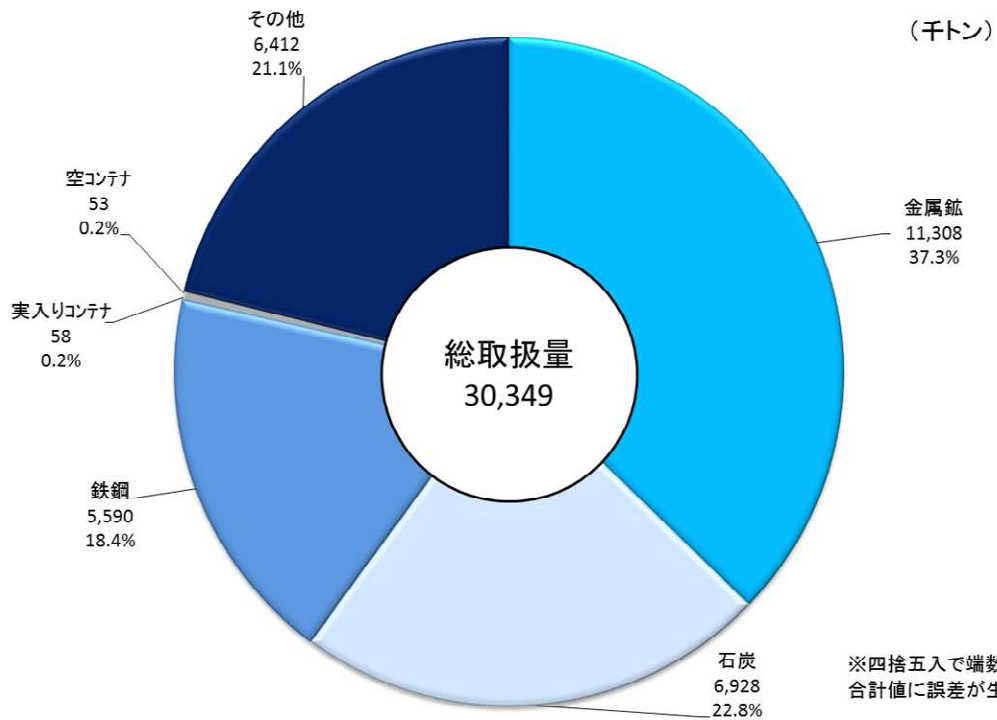
図 9



※四捨五入で端数処理する結果
合計値に誤差が生じる場合がある。

東播磨港一品目別船舶積卸実績の内訳(令和3年度)

図 10



※四捨五入で端数処理する結果
合計値に誤差が生じる場合がある。